1. 目的

- ・在宅医療における訪問診療や訪問看護、介護サービス等の実際を、病院の職員に知ってもらうことで、在宅での患者の療養、生活について具体的なイメージを持つことができる。
- ・患者の円滑な入退院に向けて、在宅チームとのシームレスな連携の促進を図る。

2. 開催状況

◆日時 令和6年3月27日(水) 19:00～20:45

◆実施医療機関 おおたかの森病院

◆参加者 51名 病院(24名) 医師 11名, 看護師9名, リハビリ職3名, MSW1名

※診療科(外科, 整形外科, 心臓血管外科, 循環器科, 泌尿器科) ごとにグループ編成

在宅(27名) 医師 11名, 訪問看護師6名, ケアマネジャー6名, 訪問リハビリ職3名

※学生1名

◆内容 グループワーク(ワールドカフェ形式)

テーマ「スムーズな在宅への移行と急変時等の病院との連携」～どのような情報があったら良いでしょうか?～

◆結果 実施後アンケートより

<おおたかの森病院>

- ・在宅側の意見が聞けて、相互理解が深まったと思う。
- ・在宅側と病院側のお互いが必要な情報の視点がわかり勉強になった。

<在宅>

- ・在宅側と病院側が連携するのに情報共有が必要であることがイメージできた。
- ・在宅側と病院側が気軽に連絡できる関係性が大切であると感じた。

3. 今年度の開催予定

国立がん研究センター東病院,他1病院と開催に向け調整中